

## 西条校区タウンミーティング開催報告

【日 時】 令和4年12月13日（火）18：30～20：00 【場 所】 西条公民館 2階大ホール

【参加者】 西条校区連合自治会長など全14人 ・ 傍聴2人

市長、公民館長、経営戦略部長

【次 第】 1 開会 2 挨拶（西条校区連合自治会長）

3 市長挨拶・事業説明（別添資料）

4 意見交換：テーマ「市民の情報力向上のための環境整備に向けて」

5 まとめ・閉会

### 概 要

#### 【自治会長挨拶】

先日の防災訓練では、地域みんなで助け合いを学んだ。顔を合わせることで安心感を覚えられる仲間意識を高めていきたい。

より良い西条校区、西条市を目指して、課題はないに越したことはないが、本日のタウンミーティングで、いろいろなご意見を聞かせてほしい。

#### 参加者の発言要旨

#### 市の発言要旨（及び対応）

#### デジタル活用支援

高齢者を中心に、スマホを所有していない人や操作方法が十分にわからない住民がいる。個人情報流出やウイルス感染、詐欺等を不安に思う。

度々教えてもらうことも悩ましく、気軽に相談、質問できる教室や市認定の講師を地域に派遣するなど、「スマートシティ西条」の恩恵を誰もが受けられるまちづくりをお願いする。

まずは家庭内など、身近な方から教えてもらうのが良い。また、SDGsに貢献した方へアプリを通じて、LOVE SAIJOポイント（地域通貨）を付与する取り組みは好評で、スマホを使う目的があれば、浸透することがわかった。

国、県、市において、DX（デジタル技術を活用した行動変容）を進めている。次のようなデジタルデバインド対策、スマホ活用支援を行っている。

(1)各公民館でのスマホ教室（活用講座）  
定員を少数（8人）とし、なるべく個人ごとに相談に応じている。スマホを持っていて、もっと使いこなしたい方を対象としている。

(2)愛顔のスマホ相談窓口  
西条郵便局など市内8か所郵便局で講師とオンラインで相談できる。予約制だが、何度でも利用できるもので、気軽に講師に尋ねてほしい。

(3)体験会・お試しレンタル（※今年度の申し込み終了）

スマホを持っておらず躊躇している方を対象に操作の体験と、3か月間の貸し出しを行った。今年度体験会に参加したのが45人、そのうちレンタル希望者が21人、レンタル後実際にスマホを持つとした人が11人であった。スマホから様々な情報がキャッチしやすくなるが、そこまでの機能を必要としない方もおられた。

意欲的な要望が出ることはありがたい。積極的に活用したいという方には、使いこなせるようにしっかりフォローしていきたい。

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<b>スマホ操作、購入のサポート</b>	
<p>自分はスマホを持っておらず、高齢者には何回も講習会が必要。また、すぐに忘れてしまうので、使用方法の簡単な一覧表があれば助かる。</p> <p>スマホ購入に対する補助があれば、広く浸透するのではないか。</p>	<p>メーカーや機種によって操作方法は異なるので、説明書を見るのが良い。すべての機種に共通するような一覧表を作るのは難しいと思われる。</p> <p>また、スマホユーザーが人口の約8割との情報もあり、残りの方への購入補助はなかなか成り立たないと思われる。まずは、スマホに触れてもらい、使いやすい環境づくりに力を入れていきたい。LINEなど生活上楽しめる機能を覚えて、慣れていっていただきたい。</p>
<b>通信技術を用いた学習環境の整備</b>	
<p>西条市は、ネットワークを利用した情報発信や環境整備が進んでいる。小学校でも各児童にタブレットが配られ、ICT教育を行っている。</p> <p>一方、情報を得るためには各家庭に通信環境が必要で、費用が発生する。環境が平等に整えられれば、子ども達も住みやすく家庭の通信費が抑えられて助かる。市では、通信環境の整備をどう考えるか。</p>	<p>コロナ対策もあり、家庭での通信学習の機会が増え、一人一台タブレットの体制をいち早く整えた。経済的なサポートとしては、今年度から準要保護相当世帯と特別支援学級の就学児童・生徒の世帯を対象に年間上限14,000円を支給している。</p> <p>十分でない部分もあろうかと思うが、学校給食費の面でもサポートをしている。</p>
<b>3世代交流の促進</b>	
<p>PTAの方々との話で、年配者に教えるのはその子ども世代（小学生）が良いと感じた。高齢者は講習を受けに行く活力もなく、きっかけとしては地域の子供達と親しくなり、教えてもらえる関係ができるとありがたい。</p> <p>地域がいきいきするためには、高齢世代と若い世代、子ども世代が交流できる場が必要。近年、通学合宿はコロナで中止となり残念。団体（婦人会）をこれからどうしていくかの問題もあるが、若い方々とコミュニケーションをとり、元気をいただきたい。</p>	<p>通学合宿を活用して、高齢者が子ども達に地域の文化や習慣を、子どもが高齢者にスマホの使い方を教えるような機会ができると良いと感じた。</p> <p>地域の中で3世代交流が進むように、サークルや団体同士でイベントをするなど、公民館も情報交換、発信の場として利用いただきたい。</p>
<b>通学路の安全対策</b>	
<p>市道喜多川朔日市線が開通し、松之巻交差点の歩車分離式信号機は、子ども達が2段階に横断するので、信号の時間を長くしてほしい。</p> <p>開通時にもPTAから要望したが、交通量の関係から難しいとのことだった。依然、危ないとの意見が出ており、改めて要望する。</p>	<p>通学路の安全対策に力を入れている。ご提案の件は、今年度の通学路安全推進連絡協議会に対し、学校からも要望があり、警察等の関係者で協議、現地確認した。</p> <p>警察からは、「弱者用信号機」（ボタンを押すと青色の表示時間が延長される信号機）の設置を検討しているとのこと。</p>
<p>昨年度のタウンミーティングで、西ひうち方面への通勤車両の通学路通り抜けについて、危険であるとの発言があった。</p> <p>その後、通り抜けの交通量が減ったことは嬉しい。</p>	<p>ひうち立地企業連絡協議会等へ要望書を出した後の交通量調査によると、令和4年2月にマイナス35%、令和4年7月にマイナス28%であった。皆さんの要望の効果があつた。</p>
<p><b>【まとめ】</b></p> <p>&lt;市長&gt; 先日、西条校区を中心に防災訓練を行った。皆さんの力を合わせる姿が見られた。デジタル化社会と言いつつも、人と人のつながり、協力が必要。地域づくりは、公民館が地域の皆さんと関わっていくことが大切。行政と皆さんと一緒に進めていきたい。</p> <p>&lt;連合自治会長&gt; 市長から挨拶があつたように、SDGs、防災など、一人ではできないことを地域の皆さんが寄り添いながら、取り組んでいきたい。</p>	

<当日の様子>

